



立松新治 議員

のびのび園は保育所と 相互通所ができないか

問

母子通園施設ののびのび園

【注】について尋ねる。

【注】心身の発達の遅れや恐れのある未就学児に、集団生活の適応訓練等を行う施設。保護者と児童が一緒に利用する。場所は以前の二葉保育所。

- (1) 利用者数の推移
- (2) 今後の運営方針
- (3) 保育所と相互通所ができる形はとれないか。

交流はしているが 今後の課題になる

答 民生部長

- (1) 17年4月に開設し、18年度は月平均15人、19年度は同13人の利用で、現在は5人である。
- (2) 定期的な言語聴覚士、臨床心理士、理学療法士による療育を実施している。



のびのび園（境町地内）

保育所と連携をとり、交流を深めている。今後も関係機関と連携を密にし、適切な運営に努めていく。

答 児童課長

- (3) 移行ステップ（保育所への移行準備）を踏んで保育所に移るが、再度園で療育も受けたいということであれば交流はしている。
- 2カ所に籍を置くことは認めていないが、今後の課題になると思う。

問

蟹江町のアイリス（不登校の子ども）の学校復帰支援施設が飽和状態と聞いた。また今後は特別支援教育をより考えていかなければならないがどうか。

答 教育課長

現在1校を除く全学校で特別支援学級（特別な支援を必要とする児童・生徒のための学級）が設置され、16学級、59人が在籍している。

通級学級制度（普通学級に在籍し、支援が必要な児童・生徒のための支援）は今後も設置を県教育委員会に要望していききたい。

アイリスへは現在、中学生が3人通っている。将来的には市内で設置していききたい。

南部地域のケーブル テレビ整備状況は

問

ケーブルテレビについて尋ねる。

- (1) 南部地域の進捗状況

- (2) 市の自主財源を使ってでも進めてほしいがどうか。

国交付金の採択後に 事業化を進める

答 企画政策課長

- (1) 北部地域は事業者（西尾張シーエーティーヴィ株式会社）の要望で、同社が全額負担し、19年度に整備が行われた。

南部地域は国の交付金が採択され次第、事業化を進めるが、20年度当初の採択は受けられなかった。しかし、2次、3次採択の可能性があるので、その都度申請をする予定をしている。

答 市長

- (2) 南部地域の事業費は約6億3、800万円とされており、事業者が2分の1、市と国交付金4分の1ずつで事業を進めていきたい。
- 北部と南部の地域格差が生まれてはいけないと思っており、そうした観点に立つて判断をしていきたい。